



2013年12月16日

各 位

会 社 名 日本製紙株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 芳賀 義雄
コ ー ド 番 号 3863(東証一部)
問 合 わ せ 先 企画本部長代理 鹿島 久仁彦
電 話 03-6665-1005

SCG ペーパー社フィブラス事業部門会社の 株式取得(第三者割当増資引受)に関するお知らせ

日本製紙株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:芳賀 義雄)は、2013年9月2日に発表しました「タイ国 SCG ペーパー社への事業参画について」(注1)の内容に沿い、2013年12月13日に SCG ペーパー社(注2)と SCG ペーパー社フィブラス事業部門会社(注3)にかかわる合弁契約を締結しましたのでお知らせいたします。

当社グループは「総合バイオマス企業」として事業構造転換を推進するとともに、海外事業の収益力強化に取り組んでおり、人口の増加と経済成長により、需要拡大が見込めるアジアを中心とする環太平洋地域を重点戦略地域と位置付けて、海外事業の展開を推進しています。

これまで当社はタイ国において、SCG ペーパー社と更なる関係強化を図るため、2008年2月に包括的業務提携の覚書を交わし、2012年7月に多用途薄物産業用紙事業の生産・販売を行うサイアム・ニッポン・インダストリアル・ペーパー社(SNP社、注4)を合弁で設立しました。さらに、当社とSCG ペーパー社は新たな合弁事業についても協議を進め、本年9月に当社がSCG ペーパー社のフィブラス事業に参画することについて合意しました。それに伴い、このたび、SCG ペーパー社フィブラス事業部門会社の第三者割当増資引受により、当社が同社株式を取得することについて合意に至ったものです。

今後、当社は合弁契約に基づき、2014年6月までにフィブラス事業部門会社の株式約22%(約110億円相当)を取得し、さらに2016年を目処に当該株式を約30%まで追加取得していきます。また、当社は、SCG ペーパー社のフィブラス事業部門会社を当社の持分法適用会社とする予定であり、今回の株式取得を機に、成長市場である東南アジアにおいて、両社の経営資源を活用した新たな事業展開を加速させ、当社グループの持続的な成長を目指してまいります。

なお、本件による当連結会計年度の連結業績および連結財務状況に与える影響は軽微であります。

添付: (1)当社のSCG ペーパー社フィブラス事業部門会社への出資概要(2014年6月時点)
(2)SCG ペーパー社との提携の経緯

(注1) 日本製紙グループウェブサイトをご覧ください。

<http://www.nipponpapergroup.com/news/news13090201.html>

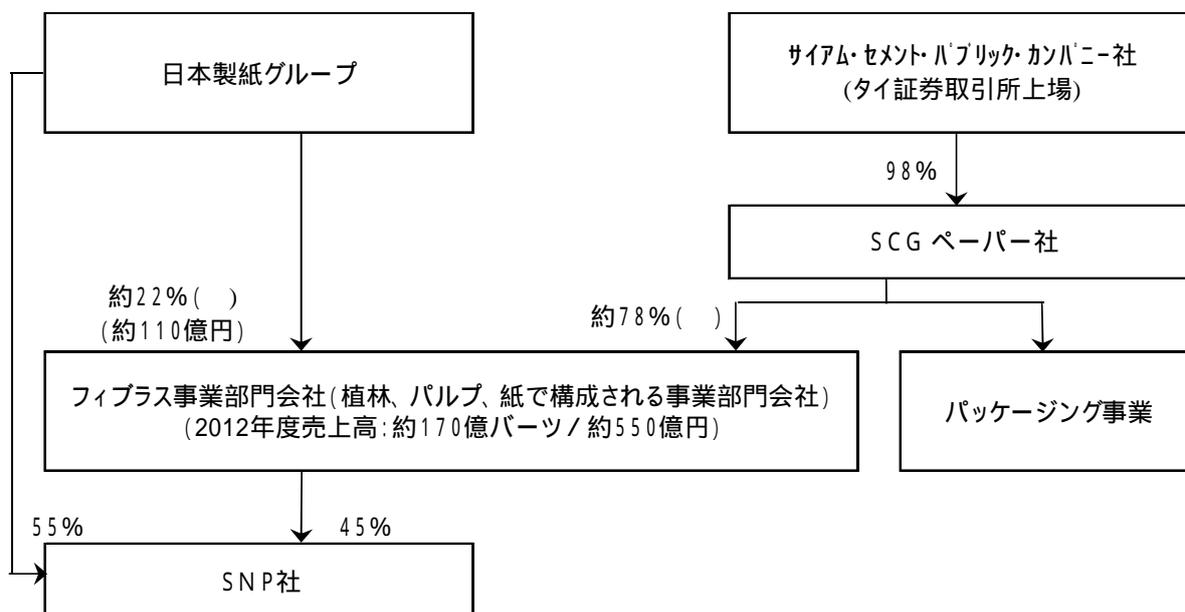
(注2) タイのサイアム・セメントグループ子会社(紙パルプ事業)

(注3) SCG ペーパー社の植林、パルプ(47万t/年)、紙(57万t/年)で構成される事業部門会社。平成24年度売上高は約170億バーツ、SCG ペーパー社売上高全体の約30%。

(注4) 日本製紙グループ55%出資。抄紙機の導入を進めており、2014年春に稼働予定。

以上

(1) 当社の SCG ペーパー社フィブラス事業部門会社への出資概要(2014 年 6 月時点)



() 2014年以降、第三者割当増資引受けにより、当社はフィブラス事業部門会社株式を追加取得し、30%とする予定。

(2) SCG ペーパー社との提携の経緯

2008年2月	包括的業務提携を開始
2012年7月	多用途薄物産業用紙の生産・販売を行うサイアム・ニッポン・インダストリアル・ペーパー社(SNP社)を合弁(日本製紙グループ55%出資)で設立
2013年9月	日本製紙がSCGペーパー社フィブラス事業に参画することで合意
2013年12月	日本製紙がSCGペーパー社フィブラス事業部門会社株式を取得することで合意
2014年3月	SNP社の新設備が稼働予定
2014年6月	SCGペーパー社フィブラス事業部門会社の株式約22%(約110億円相当)を取得予定
2016年	SCGペーパー社フィブラス事業部門会社の株式を追加取得予定(約30%)

以上